

データを活用した生活習慣病対策のための 「人材育成プログラム」の目的・目標・評価指標と支援方法（例）					
	目的	目標	評価・モニタリングのための指標	活用マニュアルの主な該当箇所	目標達成のための支援方法
生活習慣病に関する地域診断の能力	地域の生活習慣病の優先課題を特定するための、データを活用した地域診断技術を習得する	データを解釈するうえで必要な統計に関する基礎的知識を説明できる	データ活用マニュアルの巻末資料を活用した地域診断方法について他の職員に説明できる職員の数	巻末	自己学習教材
			生活習慣病対策の企画・実施・評価のいずれかの段階でデータ活用マニュアルの巻末資料を活用した職員の数	巻末	自己学習教材
		各データベースの活用に関する基礎的知識を説明できる	施策や事業の評価等に、データを活用するうえで配慮すべき、個人情報保護に関する基本的な事項を他者に説明できる職員の数	巻末	自己学習教材
			各データベースから入手できる情報（データ）の特徴とデータベースの操作方法を他者に説明できる職員の数	第2章	研修（演習）＋OJT
			健診・保健指導の実施状況と医療受診についてのレセプト突合をするための手段（ソフト）を活用できる職員の数	第2章	研修（演習）＋OJT
		地域の特徴を、既存行政資料、関連統計を利用して把握できる	KDBで使用する地域の範囲ごとに、人口静態統計（国勢調査）や既存行政資料などを利用して、地域の特徴を明らかにできる職員の数	事例2	研修（演習）＋OJT
		地域の生活習慣病に関する問題・要因を分析できる	既存行政資料、関連統計（国勢調査、人口動態統計など）を利用して、地域の健康問題（生活習慣病のSMR・有病率・リスク因子、生活習慣の状況、医療費など）を定量的に明らかにできる職員割合	事例1,2,6,8	研修（演習）＋OJT
		地域の生活習慣病に関する健康課題を明確化できる	既存行政資料、関連統計（国勢調査、人口動態統計など）を利用して、地域の健康課題を明らかにできる職員割合（生活習慣病のSMR・有病率・リスク因子、生活習慣、医療費など、それぞれの関連および経年比較・都道府県全体等との比較により臨床的な意味を明らかにできる職員割合）	事例2	研修（演習）＋OJT
			上記の健康課題の特定を、KDBで使用する小地域ごとにできる職員割合	事例2	研修（演習）＋OJT
		生活習慣病対策として取り組むべき優先課題を特定できる	既存行政資料、関連統計（国勢調査、人口動態統計など）を利用して、事業ごとの課題（特定健診・特定保健指導の受診率・指導実施率・終了率など）を明らかにできる職員割合	第3章	研修（演習）＋OJT
			健康増進計画や各事業で設定された目標値の到達に必要な事業を検討し、優先度を検討することができる職員割合	第3章	研修（演習）＋OJT
生活習慣病対策の企画立案に関する能力	生活習慣病対策に関する法律、制度、事業等に関する知識を身につける	生活習慣病対策に関する法律、制度、事業等を説明できる	（特定健診保健指導）事業について他の職員に説明できる職員の数	巻末	自己学習教材
	地域の生活習慣病の優先課題を特定するための、データを活用した事業の立案方法を習得する	地域診断の結果を踏まえて個別事業の立案ができる	特定健診・特定保健指導の評価結果をもとに、保健指導のターゲット（治療中断者、コントロール不良者などの重症化予防の対象等）を選定している職員割合	事例3,4	研修（演習）＋OJT
			データを活用した地域診断に基づく事業計画書を作成した職員割合	第2章	研修（演習）＋OJT
		地域診断の結果を踏まえ既存事業の再構造化ができる	必要に応じてスクラップアンドビルド・リニューアルした既存事業についてその根拠を説明できる職員の数	第2章	研修（演習）＋OJT
		地域診断の結果を踏まえ、事業化に向けたプレゼンテーションができる	事業化に向けて作成されたプレゼンテーション資料・予算要求資料等の論理性、訴求ポイントの適合性、簡潔性、理解しやすさなど	第2章	研修（演習）＋OJT
生活習慣病対策の実施・運営に関する能力	生活習慣病対策（施策・事業等）を効果的・効率的に実施するためのデータ活用方法を習得する	生活習慣病対策事業・活動にデータを効果的に活用できる	地区別の健康課題（医療費・生活習慣病の有病率など）を見るる化し、市民や関係者用のための説明資料（小地域別の色塗りマップなど）を作成した状況（作成したかどうか。配布先の反応（満足度・活用度）など）	第2章	研修（演習）＋OJT
			身体活動増進に関連する公的施設のマップ、ウォーキングマップなどの作成状況（したかしないか）および利用者の反応（住民の資料の活用度、利用者の満足度）	第2章	研修（演習）＋OJT
	データを活用した生活習慣病対策を展開するための体制を整備できる	データヘルス計画を立案・実施・評価するための体制構築に向けた現状分析ができる	データの分析、分析結果の共有、事業評価・計画策定を行ううえでの以下の各関係組織・機関の現在の役割及び期待される役割を記載した文書の有無（国民健康保健団体連合会、保険者協議会、地域職域連携推進連絡会、国民健康保険課、健康づくり担当課（衛生部門）、郡市区医師会、都道府県保健所 等）	第4章	研修（演習）＋OJT
		データヘルス計画を立案・実施・評価するための体制構築に向けた計画を立案できる	作成されたデータヘルス計画に実施体制に関する内容の記載の有無	第4章	研修（演習）＋OJT
		データヘルス計画を立案・実施・評価するための体制構築に向けた調整・ネットワーク化ができる	異なる保険者のデータを活用するための方法（協定を結ぶなど）の実施状況	第4章	OJT
			データヘルス計画を実施するための形式化された体制（協議会など）の有無	第4章	OJT
		データヘルス計画を立案・実施・評価するための人材育成の体制を構築できる	人材育成を実施するための形式化された体制（協議会など）の有無	第4章	OJT
		データヘルス計画を立案・実施・評価するための人材育成の評価・モニタリングできる	人材育成の評価計画の有無、評価時期（モニタリング時期）・評価指標の妥当性	（人材育成プログラム実践ガイド）	OJT
生活習慣病対策の評価・モニタリングに関する能力	生活習慣病対策（施策・事業等）を評価するためのデータ活用方法を習得する	生活習慣病対策、健康増進に取り組んだ成果を評価できる	市町村で実施した生活習慣病対策に関する以下の計画等の効果を定量的に評価した実績（報告書としてまとめた実績のあり・なしなど）：健康増進計画、医療費適正化計画、特定健診・特定保健指導事業、重症化予防対策事業、介護予防・医療介護連携事業、その他生活習慣病対策一般（ポピュレーションアプローチなど）等	第2章	研修（演習）＋OJT
			上記の評価を、KDBで使用する小地区ごとに、定量的に把握した実績（報告書としてまとめた実績のあり・なしなど）	第2章	研修（演習）＋OJT
			経年的に肥満、高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の有所見者、治療中の者などの数字を性・年齢階級別に把握して、傾向を評価した実績（したかどうか）	第2章	研修（演習）＋OJT

※市町村は自組織の生活習慣病対策におけるデータ活用能力の状況に応じて、目的・目標を設定し、設定された目標の達成状況を測る際にこのモニタリングシートを参考にしてください。**ただし、これらすべての目的・目標の達成状況を評価することを意図して作成されたものではありません。**
 また、都道府県は、市町村が評価計画を作成する際に、本表を活用して評価計画作成（特に到達目標とその評価指標）を支援するとともに、市町村が行った評価結果に基づき、次期支援計画を作成します。また異なる市町村からの評価結果を集計して、広域的な評価結果として取りまとめ、各市町村にその結果をフィードバックします。